

給食だより



さいたま市立土呂中学校

令和6年10月 給食室

秋は、読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋などとも呼ばれますが、もう1つ大切な秋があります。それは、『実りの秋』です。『天高く 馬肥ゆる秋』という言葉もあるように、秋はいろいろな作物が実り旬を迎えおいしくなる季節です。

10月16日は『世界食糧デー』という、国連が制定した世界の食糧事情を考える日です。

世界には、貧困や格差、異常気象で大雨や洪水、高温、干ばつになるなど、たくさん問題があります。そのさまざまな問題の解決を目指すのが、「持続可能な開発目標（SDGs）」です。SDGsには17個の目標がありますが、食の問題に深くかかわるものも多いです。世界の食糧事情とSDGsの観点から、自分がどのように行動したらよいか少しづつでも良いので考えてみましょう。

世界の一人ひとりと協力し合い、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決していくことを目的としています。

※SDGs（持続可能な開発目標）の1つに「飢餓をゼロに」という目標もあります。

この日をきっかけとして自分自身の生活を見直して、世界の人々とともに生きることを実践する人が増えていくことが『世界食糧デー』の願いです。



何故、食料不足が起こるの？

食料不足や飢餓の原因はさまざまで、国によっても異なりますが、主な要因として

- ①紛争
- ②気候変動
- ③経済危機

の3つが揚げられます。それら複数の要因が絡み合うと、食料を十分に確保できない状況はさらに悪化します。

2 飢餓をゼロに



16 平和と公正をすべての人に



①の紛争は食料自給率が40%をきった日本には大きな打撃を与える問題です。なぜなら60%は輸入に頼っているから。日本国内で消費される小麦は9割が輸入によって賄われています。今まで日本は小麦をアメリカ、カナダ、オーストラリアから輸入していました。

しかし、小麦大国ともいわれるウクライナが侵攻されてから、小麦の国際相場が急騰し、日本は直接輸入をしていなかったにもかかわらず小麦の価格が高騰しました。紛争と食糧問題は深くかかわっています。

13 気候変動に具体的な対策を



②今年の日本の猛暑による影響は、農作物にも大きな影響を与えました。あまりの暑さで夏野菜が育たず、野菜の高騰が続きました。その他、温暖化によって米の品質低下や収穫量減少、サンマの回遊ルートの変化など、海温の上昇によって海流や魚の獲れる海域等にも変化が出てきているのかもしれませんが。こうした食糧問題を解決するには、気候変動を抑えるしかありません。

1 貧困をなくそう



10 人や国の不平等をなくそう



貧困により、食材を購入するお金はもちろんのこと、特に開発途上国で農家を営む人々は穀物を作るための土地、種子、水、肥料などを確保することが困難になります。そのため、食糧が作れず食糧不足となり、負のループに陥ります。

学校給食食材の産地と食品の検査結果について

さいたま市教育委員会
さいたま市立土呂中学校

～給食で使用している主な食材の産地～

本校の学校給食で使用している給食の主な食材は以下のとおりです。食材においては、流通経路を確認し、安全な食材を使用しています。

○通年

主食の米や小麦粉は、(公財)埼玉県学校給食会が選定し、牛乳は県が供給業者を決め、各学校に届けられます。

これらは、市立小・中・特別支援学校で共通食材となっています。

		食材	産地
共通食材	主食	米	埼玉県
		小麦(パン・麺)	埼玉県、アメリカ、カナダ
	牛乳	北海道、岩手県、宮城県、福島県(一部)、栃木県、群馬県、埼玉県、新潟県、秋田県、山形県	

8月30日 ～ 9月27日

		食材	産地実産
青果類		小松菜	さいたま市
		なす	埼玉
		チンゲン菜	埼玉、群馬
		きゅうり	埼玉、岩手
		ゴーヤ	埼玉
		じゃが芋	北海道
		にんじん	北海道
		玉ねぎ	北海道
		かぼちゃ	北海道
		大根	北海道
		ごぼう	青森
		長ねぎ	青森
		にんにく	青森
		トマト	秋田
		エリンギ	長野
		しめじ	長野
		えのき	長野
		セロリ	長野
		もやし	栃木
		にら	栃木
		ピーマン	茨城
		さつまいも	茨城
		きやべつ	群馬
	冬瓜	愛知	
	生姜	高知	
	みかん	愛媛	
	巨峰	山梨	
	梨	埼玉	
	レモン果汁	和歌山	
肉類		豚肉	埼玉、青森、岩手、北海道
		鶏肉	岩手
魚類		えび	インド、パキスタン
		いか	ペルー、チリ
		あさり	中国
		こいわし	ポーランド
		ほたて	青森
		鯖	ノルウェー
		さんま	北海道、宮城
その他		茎わかめ	岩手、宮城
		白いんげん豆	日本
		もち米	日本
		ひじき	大分、長崎
		干しいたけ	九州、四国

※調味料、加工食品等は記載しておりません。検収記録簿に記載しております。

～食品検査結果について～

○ 国による食品の放射性物質の新基準

放射性セシウム	一般食品	100Bq/kg
	飲料水	10Bq/kg
	牛乳	50Bq/kg

○ 埼玉県等における検査について

<埼玉県の検査結果>

9月17日現在

平成29年に国のガイドラインが大幅に改正され、埼玉県は「栽培/飼養管理が可能な品目群」(野菜、果樹、茶、きのこ類、原乳、畜産物、水産物<内水面魚種>)欄の調査対象自治体から除外されることとなりました。

それにとりま、平成28年度までは、県のホームページに調査結果がほぼ毎週公表されていましたが、平成29年度からは四半期毎(3か月に1度)に公表されることになりました。

したがって、埼玉県の検査結果については、県から公表があった月に結果を掲載いたしません。

詳しくは、県のホームページをご覧ください。

<(公財)埼玉県学校給食会の検査結果>

9月17日現在

検査依頼日		品目	検査結果	
月	日		放射性ヨウ素	放射性セシウム計
7	24	精白米(統一規格米)	<1.4	<3.8
8	20	小麦粉(パン・うどん用)	<1.1	<4.4
8	20	小麦粉(パン・ソフトめん用)	<1.6	<4.5
8	28	小麦粉(中華めん用)	<1.3	<4.0

※「<(数値)」とは、検査機器で測定できる検出限界値未満であることを示します。

詳しくは、(公財)埼玉県学校給食会のホームページをご覧ください。

<牛乳の検査結果>

9月17日現在

製造日		品目	検査結果
月	日		放射性セシウム計
9	10	学校給食用牛乳(製品)	50Bq/kg以下

※測定下限値は50Bq/kgです。

※学校給食で使用される牛乳は、月1回、(財)日本乳業技術協会による製品検査を受けています。

○ さいたま市における検査について

本市では、市内農産物と市内に流通する市外産農産物等の検査を実施しています。この検査では、生産段階及びそれに近いところで採取することにより、基準値を超える結果が出た場合には、直ちに出荷等を止めるなどの対応をとります。

<さいたま市の検査結果>

9月17日現在

採取日		品目	検査結果		
月	日		放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
7	25	(群馬県)きやべつ	<0.954	<0.838	<1.8
8	22	(群馬県)なす	<1.83	<1.49	<3.3
8	22	(青森県)だいこん	<1.72	<1.82	<3.5

※結果欄の「<(数値)」は、検出限界値です。詳しくは、さいたま市のホームページをご覧ください。

(単位はBq/kg)